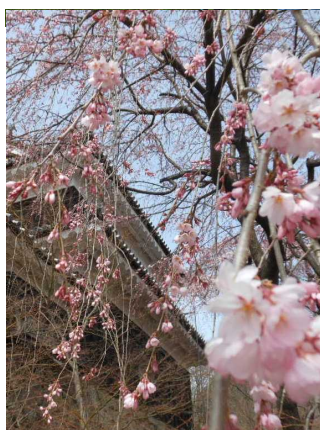
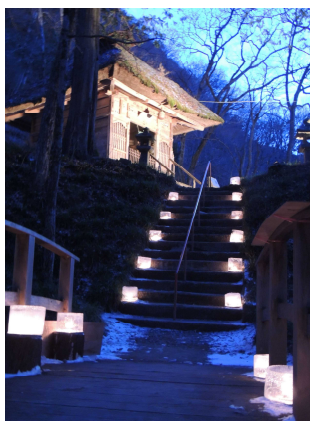


平成26年度 上田市議会報告会

資 料



上 田 市 議 会

目 次

1	市議会のしくみ	2 ページ
2	上田市議会議員名簿	4 ページ
3	総務文教委員会活動報告	6 ページ
4	産業水道委員会活動報告	8 ページ
5	厚生委員会活動報告	10 ページ
6	環境建設委員会活動報告	12 ページ
7	議会機能強化特別委員会活動報告	14 ページ
8	議会広報特別委員会活動報告	15 ページ
9	請願・陳情の審査	19 ページ
10	平成25年度議会報告会でのご意見等	20 ページ

表紙写真の紹介

表紙の写真は過去1年間の議会だよりの表紙に掲載された写真です。

自然と文化溢れる上田市の季節ごとの魅力を議会広報特別委員会の委員が用意し、市民の皆様にお伝えしています。

左上から時計回りに

中塩田の稲刈り後の田園

議会だより41号（平成26年11月1日号）掲載

鹿教湯温泉の氷灯ろう

議会だより43号（平成26年2月1日号）掲載

上田城跡公園のサクラ

議会だより44号（平成26年5月1日号）掲載

銀鱗舞う季節（提供：上小漁業協同組合）

議会だより46号（平成26年8月1日号）掲載

市議会のしくみ

市議会とは、市民の直接選挙により選ばれた議員で構成されます。

市民全体を代表する機関として、市の最終的な意思を決定するとともに、執行機関を監視するという大切な役割を持っています。

市長をはじめとする「執行機関」は、よりよい市政運営のためにいろいろな施策を立案し実行します。これに対し、市議会は「議決機関」と呼ばれ、市長の立案した事柄について意見を述べ、審査及び議決し、最終的な上田市の意思を決定します。

市長と議員が、教育や福祉あるいは産業振興といった市民生活に関係ある事項について真剣に検討を行う市議会は、市民の声を行政に反映させる場であるといえます。

市議会議員

市議会議員は、住民全体の代表である非常勤の特別職公務員です。

市政の各種課題の解決に向けて市民の声をくみとり、これを市政に反映させる一方、市政の動きや議会の活動について市民に知らせる使命を帯びています。

議長と副議長

議長と副議長は、議員の中から選挙されます。

議長は、議会の代表者であり、会議を円滑に運営するほか、議会全体の事務を処理するなどの権限を持っています。

副議長は、議長が病気などで職務をとれない場合に代行します。

会 派

会派とは、同じような考えを持った議員の集まりで、議会活動において自分たちの考えを会派の意見としてより強く打ち出すことができます。

上田市議会は、国会と同様に会派制をとっており、3人以上の議員により会派を結成することができます。

本会議と委員会

議員全員が議場に集まって開く会議が本会議です。この本会議の議決がなければ、条例や予算などは法的な効力を生じません。

委員会は、市の事務を効率的かつ専門的に審査するため分野別に分担して議案などを審査し、本会議に報告します。委員会は、本会議の予備審査機関として重要な役割をもっています。

常任委員会

委員会名(定数)	所 管 事 項
総務文教委員会 (8人)	政策企画局、総務部、財政部、教育委員会、会計課、選挙管理委員会、公平委員会、監査委員及び固定資産評価審査委員会に関すること。 他の委員会に属さないこと。
産業水道委員会 (7人)	商工観光部、農林部、農業委員会、上下水道局に関すること。
厚生委員会 (7人)	健康福祉部、福祉事務所、こども未来部に関すること。
環境建設委員会 (8人)	市民参加協働部、生活環境部、都市建設部、消防部に関すること。

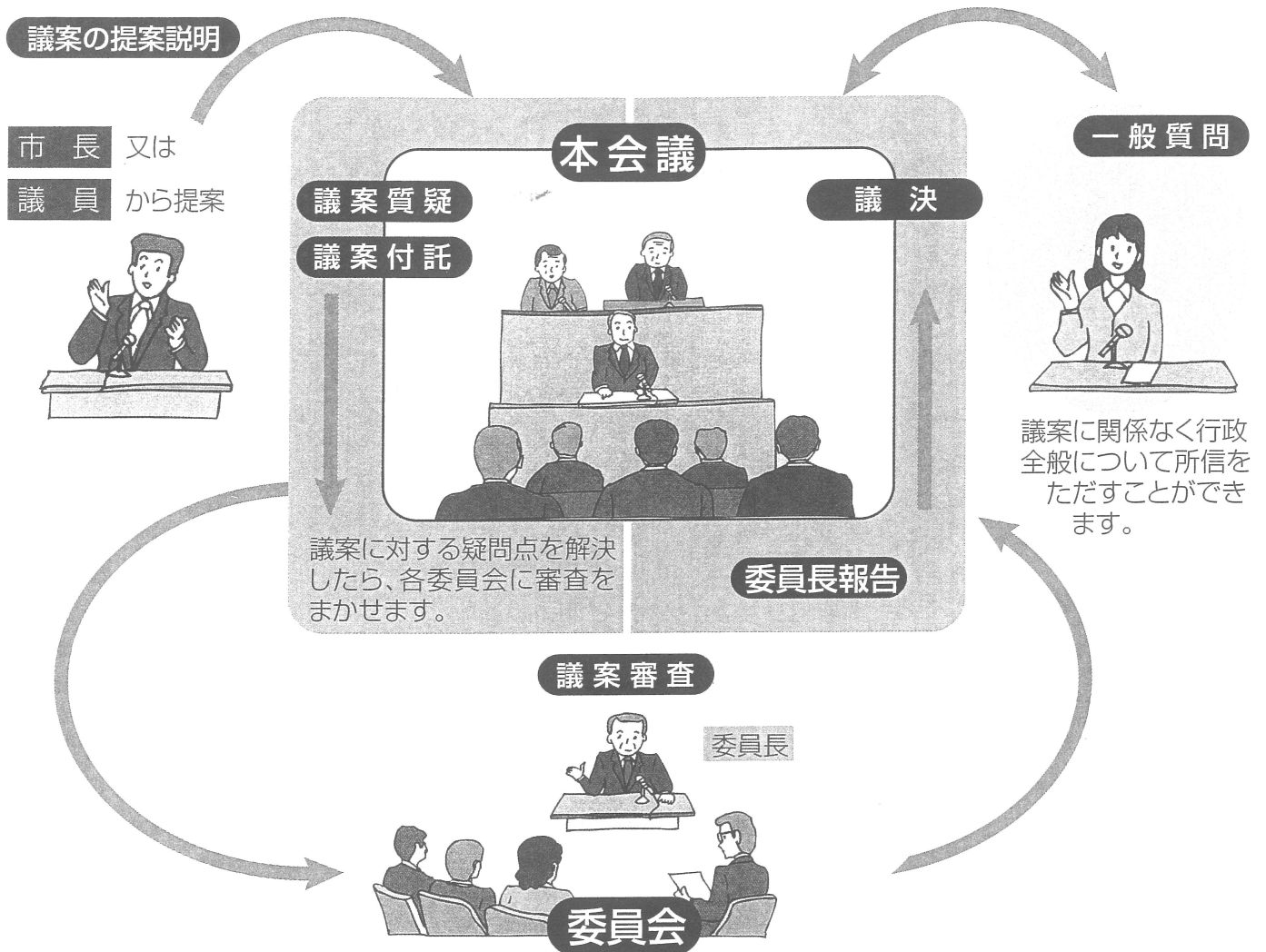
議会運営委員会

議会運営委員会 (8人)	議会の運営及び議長の諮問に関すること。
-----------------	---------------------

特別委員会

	必要に応じて議会の議決により設置されます。 議決された特定の事項についてのみ審査し、審査が終了した時点で消滅します。
--	---

議会のすすめ方



請願と陳情

市議会では、市民のみなさんの要望などを請願や陳情という形で受け付けています。

提出された請願や陳情は、内容を審査し、採択(とりあげる)か不採択(とりあげない)かを決定します。紹介議員の必要な請願は、地方自治法に基づき議案と同様に本会議で議決します。陳情は、委員会審査にとどめますが、請願に準じた扱いをしています。

上田市議会議長 様 年月日

提出者 住所・氏名 ①
紹介議員署名・記名 ①

〇〇〇〇〇〇を求める請願

請願の趣旨

上田市議会議長 様 年月日

提出者 住所・氏名 ①

〇〇〇〇〇〇を求める陳情

陳情の趣旨

書式例

上田市議会議員名簿

議席	氏名	ふりがな	役職	常任委員会	会派	自治会等	自宅電話
1	林和明	はやしかずあき		厚生	新生会	川辺町	75-5583
2	佐藤論征	さとうのりゆき		環境建設	新生会	真田	72-5666
3	山田英喜	やまだひでき		産業水道	創始会	富士見台	71-2822
4	成瀬拓	なるせたく		厚生	日本共産党	材木町	27-2771
5	松尾卓	まつおたかし		環境建設	公明党	下本入	85-0747
6	小坂井二郎	こさかいじろう	○	産業水道	上田新風会	中之条	23-2582
7	金子和夫	かねこかずお		総務文教	新生会	石井	35-0453
8	土屋勝浩	つちやかつひろ		厚生	新生会	長島	24-3344
9	松山賢太郎	まつやまけんたろう		産業水道	新生会	染屋	22-5452
10	井沢信章	いざわのぶあき	監査委員	総務文教	新生会	越戸	31-2237
11	松井幸夫	まついゆきお		産業水道	創始会	七ヶ	85-3420
12	宮下省二	みやしたしょうじ		総務文教	創始会	諏訪形	22-6415
13	原栄一	はらえいいち		環境建設	創始会	大屋	35-0147
14	池田総一郎	いけだそういちろう		総務文教	創始会	上本郷	38-2960
15	古市順子	ふるいちじゅんこ		環境建設	日本共産党	竹室	72-3261
16	金沢広美	かなざわひろみ		産業水道	公明党	岩清水	27-5102
17	三井和哉	みついかずや		総務文教	上田新風会	岡保	73-2546
18	下村栄	しもむらさかえ	議長		新生会	腰越	42-5397
19	西沢逸郎	にしざわいつろう		総務文教	新生会	城北	090-2473-1571
20	安藤友博	あんどうともひろ		産業水道	新生会	塩田新町	38-9080
21	尾島勝	おじまさる		環境建設	新生会	久保林	36-2641
22	土屋陽一	つちやよういち		厚生	新生会	新田	22-9461
23	佐藤清正	さとうきよまさ		厚生	創始会	中丸子	42-0784
24	小林隆利	こばやしかとし	○	厚生	創始会	鈴子	38-4185
25	南波清吾	なんばせいご		環境建設	創始会	下室賀	31-3286
26	久保田由夫	くぼたよしお		総務文教	日本共産党	町組	42-6361
27	渡辺正博	わたなべまさひろ		産業水道	日本共産党	下之郷	38-4452
28	半田大介	はんだだいすけ	○	総務文教	公明党	保野	38-0162
29	池上喜美子	いけがみきみこ	副議長	厚生	公明党	踏入	25-3360
30	深井武文	ふかいたけふみ	○	環境建設	上田新風会	辰ノ口	42-5830

は委員長、○は副委員長

会派別議員名簿

会派名	所属議員
新 生 会	林 和 明 金子和夫 松山賢太郎 下村栄 安藤友博 土屋陽一 ○尾島勝
創 始 会	山田英喜 宮下省二 池田総一郎 小林隆利 ○松井幸夫 原栄一 ○佐藤清正 南波清吾
日 本 共 産 党	成瀬拓 ○久保田由夫 渡辺正博
公 明 党	松尾卓 半田大介 ○金沢広美 池上喜美子
上 田 新 風 会	小坂井二郎 深井武文 ○三井和哉

は代表、○は代表代理

上田市議会議員名簿

常任委員会委員表

総務文教委員会	委 員 名			
	金 子 和 夫	井 沢 信 章		
	宮 下 省 二	池 田 総 一 郎		
	三 井 和 哉	西 沢 逸 郎		
	久 保 田 由 夫	○ 半 田 大 介		

産業水道委員会	委 員 名			
	山 田 英 喜	○ 小 坂 井 二 郎		
	松 山 賢 太 郎	松 井 幸 夫		
	金 沢 広 美	安 藤 友 博		
	渡 辺 正 博			

厚生委員会	委 員 名			
	林 和 明	成 瀬 拓		
	土 屋 勝 浩	土 屋 陽 一		
	佐 藤 清 正	○ 小 林 隆 利		
	池 上 喜 美 子			

環境建設委員会	委 員 名			
	佐 藤 論 征	松 尾 卓		
	原 栄 一	古 市 順 子		
	尾 島 勝	南 波 清 吾		
	○ 深 井 武 文			

は委員長、○は副委員長

議会運営委員会委員表

会派名	委員名
新 生 会	土 屋 勝 浩 松 山 賢 太 郎 井 沢 信 章
創 始 会	○ 佐 藤 清 正 南 波 清 吾
日 本 共 産 党	古 市 順 子
公 明 党	金 沢 広 美
上 田 新 風 会	三 井 和 哉

は委員長、○は副委員長

特別委員会委員表

1 議会広報特別委員会

会 派 名	委 員
新 生 会	林 和 明 金子和夫 松山賢太郎
創 始 会	山 田 英 喜 原 栄 一 池田総一郎
日 本 共 産 党	渡 辺 正 博
公 明 党	○ 半 田 大 介
上 田 新 風 会	小 坂 井 二 郎

は委員長、○は副委員長

2 議会機能強化特別委員会

会 派 名	委 員
新 生 会	佐 藤 論 征 土 屋 勝 浩 ○ 西 沢 逸 郎
創 始 会	松 井 幸 夫 宮 下 省 二 佐 藤 清 正
日 本 共 産 党	成 瀬 拓
公 明 党	池 上 喜 美 子
上 田 新 風 会	三 井 和 哉

総務文教委員会からの報告

1．総務文教委員会の構成



(左上から) 宮下省二委員 三井和哉委員 西沢逸郎委員 久保田由夫委員
金子和夫委員 池田総一郎委員長 半田大介副委員長 井沢信章委員

2．総務文教委員会の主な仕事

- 市政の総合施策の企画及び調整に関すること
- 行政組織その他一般行政に関すること
- 予算その他財務に関すること
- 教育行政に関すること
- 上田市交流文化芸術センターに関すること

3．重点的に取り組んでいる主な活動

(1) 行政視察

視察地	時期	視察項目
長崎県長崎市	H26・7・2	公共施設マネジメント
佐賀県武雄市	H26・7・3	官民一体による教育改革
佐賀県多久市	H26・7・4	いじめ等問題行動対策委員会設置条例

7/3 は不測のゲリラ豪雨により JR 運休となり、移動ができず視察を断念。

(2) 懇談会

懇談団体	時期	懇談内容
上田市 教育委員会	H26・7・14	教育委員会制度改革法の改正に伴う対応 開かれた教育委員会に向けて

(3) 所管事務調査

調査先	時期	調査内容
上田市立 第三中学校	H26・5・15	建て替えと大規模改修計画に伴う校舎の 現状調査
第一学校給食 センター	同上	老朽化した給食センターの現状と課題 の調査、および自校給食への見通し
第二学校給食 センター	同上	同上
塩田自然運動 公園プール	同上	プールの老朽化に伴う現状と課題に関 する調査
交流文化 芸術センター	同上	工事の進捗状況と、オープンに向けての 上田市の取り組み状況の調査



第三中学校の調査の様子

産業水道委員会からの報告

1 産業水道委員会の構成



(左上から)金沢広美委員、渡辺正博委員、安藤友博委員
山田英喜委員、松山賢太郎委員長、小坂井二郎副委員長、松井幸夫委員

2 産業水道委員会の主な仕事

- 商業、工業、観光業、農林業等の地元産業振興と労働行政に関する全般
- 上水道、下水道、農業集落排水事業に関する全般

3 重点的に取り組んでいる主な活動

(1) 平成 28 年度 NHK 大河ドラマ真田丸放送を活用した地域振興

50 年に一度の機会である大河ドラマ放送は疲弊する地域経済において好影響を与えることは確実です。しかしこの好機を一過性のものにすることなく将来に渡る明確な方針と実行計画を整え更に飛躍する為の起爆剤となるように観光体制の再検討・整備をしなければなりません。その為、近年 NHK 大河ドラマの誘致に成功した地域を視察し、地域経済における影響や観光体制整備などを調査・研究しながら多くの上田市民・地元関係者からのご意見やアイデアを御伺いし、NHK 大河ドラマ「真田丸」放送における受け入れ体制の充実と共に最善の地域振興策を提案してまいります。

(2) 上田市中小企業振興条例（仮称）の制定

地域振興の要は地元経済を日夜支えて頂いている中小企業の皆様であることは間違いありません。地域特性を生かしつつ如何に地元中小企業を活性化し、元気に事業活動ができる環境の整備は今後益々重要になります。そんな中、今年 3 月長野県では長野県中小企

業振興条例を施行され、地方経済活動は国や県に依存するのではなくその地域住民が自ら考え実践する方向性が明確になり、上田市でも早急に中小企業振興条例制定の必要性が高まっています。上田市議会として継続している市内商工3団体および中小企業家同友会との意見交換は勿論、より広くパブリックコメントを求める為に各種経済団体や商工振興会等とも積極的に交流する事で、早期の条例制定に向けた意見集約と合意形成を推進いたします。



「山口市ふるさと振興条例」視察風景

(3) 新たな高付加価値型農林業の仕組み再構築

地域振興を考える上では農業の再生・再構築は緊急課題であり、担い手の育成、硬直した農地利用体制を見直す「人・農地プラン」の確実な推進、地域にあった農産物の販売方法やブランド化の再検討など、新たな付加価値を創造するための調査・研究を進めます。また地域固有の再生可能エネルギー活用の観点から林業の再生支援や松くい虫対策の抜本的な見直しなどを中心に現状把握に努め、問題点の再検討などを含めて提言してまいります。

(4) 上下水道施設の計画的な維持・更新並びに水源確保

「安全・安心、おいしい水の安定供給」を維持継続する為には計画的な設備点検・更新が必要不可欠です。行政が適正な設備投資計画の実施や安定した経営体制の維持、水道料金の適正化に関して注視していきます。また安定した水源確保に関する活動の支持や水資源全体の適切な利用方法について研究します。

(5) 行政視察

視察地	時期	視察項目
山口県萩市	7月22日(火)	平成27年度NHK大河ドラマ「花燃ゆ」における受入れ体制整備と観光政策。
山口県長門市	7月23日(水)	やきとり日本一の取り組み。
山口県山口市	7月24日(木)	山口市ふるさと振興条例。

厚生委員会からの報告

1 厚生委員会の構成



(左上から)土屋陽一委員、佐藤清正委員、池上喜美子委員、
林和明委員、土屋勝浩委員長、小林隆利副委員長、成瀬拓委員

2 厚生委員会の主な仕事

- 福祉、高齢者介護、健康推進、国保年金に関すること
- 上田市立産婦人科病院に関すること
- 保育園、幼稚園、子育てに関すること

3 重点的に取り組んでいる主な活動

(1) 安心安全の地域医療体制の整備

平成 25 年度で終了した上小医療圏地域医療再生計画の成果を活かし、市民が安心できる救急医療体制の整備とガン治療の充実、医師確保に向けた事業等が、さらに前進していくよう提言してまいります。

今年 4 月に信州上田医療センターの産科が再開されたことにより、地域でのハイリスク分娩の受け入れが可能となりました。今後は、上田市立産婦人科病院との連携がスムーズに図れるよう注視してまいります。

(2) 介護保険制度の改正に伴う介護予防の充実

介護保険法の改正により、来年度から「要支援 1・2」の区分が廃止され、介護予防は全て市町村の事業に位置付けられます。効果的な介護予防策が採られるよう、計画の段階から注視してまいります。

今年は、第6期上田市高齢者福祉総合計画策定の年となります。「地域包括ケア」の施策が更に充実した内容となるよう、現状及び課題をしっかりと分析しながら取り組んでまいります。

(3) 子ども子育て支援新制度への対応

来年度から「子ども子育て支援新制度」がスタートします。未満児保育や延長保育等のあり方に保護者の意見がしっかり反映されるよう、委員会としても新制度の内容を十分に研究しながら、保育行政の更なる充実に向け、提言してまいります。

(4) 行政視察

視察地	視察項目
・ 鹿児島市 7月23日(水)	すこやか子育て交流館 「りぼんかん」
・ 久留米市 7月24日(木)	自殺予防対策「久留米方式」
・ 福岡市 7月25日(金)	保育士の人材確保と離職防止策



鹿児島市すこやか子育て交流館の視察



福岡市役所での視察

(5) 懇談会

懇談団体	時期	懇談内容
私立保育園協会	10月6日(月)	子ども子育て支援新制度への対応について

環境建設委員会からの報告

1 環境建設委員会の構成



(左上から)原栄一委員、尾島勝委員、南波清吾委員
佐藤論征委員、古市順子委員長、深井武文副委員長、松尾卓委員

2 環境建設委員会の主な仕事

- 戸籍住民基本台帳、自治会、市民協働、地域協議会、人権男女共同参画に関すること
- 環境衛生、新エネルギー、ごみ処理、市営住宅に関すること
- 道路、水路、公園、都市計画、地域交通に関すること
- 常備消防、非常備消防、消防施設、水防に関すること

3 重点的に取り組んでいる主な活動

(1) 地域内分権確立に向けて、今年度はモデル地域での「地域経営会議」の設置が進められようとしています。推移を見守りながら、地域協議会の皆さんとの意見交換を行っていきたいと考えています。

(2) 今年度の行政視察では、調布市の「クリーンプラザふじみ」を視察し、住民合意をどのように図ってきたか、お聞きしてきました。

上田地域広域連合が進める資源循環型施設については、昨年11月に資源循環型施設建設関連事業課が設置され、地元調整、ごみ減量化など協力体制がつくられました。

委員会としても、情報収集、意見交換等行っていきたいと考えています。

(3) 市営住宅については、上田原団地、内堀団地を現地調査しました。「市営住宅等ストック活用計画」の進捗状況を把握し、計画推進の課題等研究していきます。

(4) 丸子小牧線トンネル工事、神畑原峠線等の現地調査をしました。

幹線道路の整備をはじめ、市民要望の高い生活道路整備のための地域別単独枠予算確保を求め、執行状況をチェックしていきます。



丸子小牧線トンネル工事の現地調査

(5) 2年目を迎える運賃低減バスをはじめ、公共交通機関の利用者を増やす取り組みを研究、提言していきます。

(6) 消防団員確保のため、団員の処遇改善等に、関係団体との連携を強化して取り組みます。

(7) 行政視察

視察地	時期	視察項目
東京都 調布市	7月23日	・「クリーンプラザふじみ」の施設整備及び運営について  「クリーンプラザふじみ」を視察
北海道 小樽市	7月24日	・空き家・空き地バンク制度について
北海道 江別市	7月25日	・「公園アダプト制度」・「市民参加による公園づくり事業」について

議会機能強化特別委員会からの報告

1 議会機能強化特別委員会の構成



(左上から)佐藤論征委員、宮下省二委員、松井幸夫委員、土屋勝浩委員、成瀬拓委員、
佐藤清正委員、西澤逸郎副委員長、池上喜美子委員長、三井和哉委員

2 議会機能強化特別委員会の主な仕事

- 議会改革実施に向けた調査研究
- 議会基本条例の検証、見直し

3 重点的に取り組んでいる主な活動

上田市議会基本条例が4月1日から施行されています。その第5章「市議会の機能強化と改革の推進」の中において、議員間討議の実施について規定しています。

前期の委員会においては議員間討議の骨子案が策定されました。今期は、「議員間討議推進要綱骨子案」について再度精査し、議員間討議の実施にむけて調査研究し、具体的な要綱案の策定に取り組んでいきます。

議会広報特別委員会からの報告

1 議会広報特別委員会の構成



(左上から)金子和夫委員、松山賢太郎委員、池田総一郎委員、小坂井二郎委員、原栄一委員
林和明委員、渡辺正博委員長、半田大介副委員長、山田英喜委員

2 重点的に取り組んでいる主な仕事

(1) うえだ市議会だよりの発行

議会だよりは、どのような議案が市から提出され、議会がどのように判断をしたか、一般質問とその答弁や政務活動費の使い道、行政視察報告など議会活動について市民の皆さんに継続的にお知らせする広報誌です。情報提供の手段である「議会だより」を読みやすく、分かりやすいものにすることを常に心がけ発行にあたっています。また、昨年から公募などで募集した「広報広聴モニター制度」を実施し、議会だよりと市議会ホームページに関して市民の皆さんの意見を反映させ、更なる充実を目指しています。

(2) 本会議一般質問等のインターネット動画配信に関する調査研究

議会改革に一環として項目に挙がっている本会議等一般質問のインターネット配信について、今後さらに調査研究を行います。

(3) 議会報告会

4年目となり、これまでの改善点を踏まえ検討を重ねてきました。アンケート等で要望のあった意見交換について、より時間を多く取れるように報告会の構成を検討しました。昨年に引き続き、議会報告会参加者に配布する資料については、地域自治センター、公民館等に事前配布しました。また、インターネットによる動画配信を実施します。

政務活動費について

上田市議会では、「上田市議会政務活動費の交付に関する条例」に基づき、議員の調査研究その他の活動に資するための必要な経費の一部を政務活動費として交付しています。

政務活動費の額は上田市議会の場合、議員一人当たり年額24万円で、各会派に対して毎年4月1日に、所属する議員の人数分の額が交付されています。

また、政務活動費の収支報告書の提出にあたっては、議会内の取り決めで、全て領収書をつけて報告することとしており、その内容についてはどなたでもご覧いただけます。

○政務活動費とは

平成24年の地方自治法の改正では、政務調査費の名称が「政務活動費」となり、その交付の目的が「議員の調査研究その他の活動に資するため」と改められました。

また、政務活動費を充てることができる経費の範囲を条例で定めることとされました。

合わせて、議長は政務活動費についてその使途の透明性に努めることとされています。

この改正により、従来、調査研究の活動と認められなかった陳情活動等のための旅費や交通費、会派での会議に要する経費等についても条例で定めることで対象となりました。

上田市議会が条例で定めている政務活動費を充てることができる項目については、表のとおりです。

また、上田市議会では、政務活動費の使途の透明性を確保するために、収支報告書への領収書の添付、収支報告書のホームページへの掲載、視察報告書の掲載などを行っています。

上田市議会が条例で定めている政務活動費を充てることのできる経費の範囲

(上田市議会政務活動費の交付に関する条例第 5 条別表)

項目	内容
調査研究費	会派が行う市の事務、地方行財政等に関する調査研究及び調査委託に要する経費
研修費	1 会派が行う研修会の実施に要する経費 2 団体等が開催する研修会への所属議員の参加に要する経費
広報費	会派が行う市政及び会派の活動に関する住民への報告に要する経費
広聴費	会派が行う住民からの市政及び会派の活動に対する要望及び意見の聴取、住民相談等に要する経費
要請・陳情活動費	会派が行う要請・陳情活動に要する経費
会議費	1 会派が行う各種会議の開催に要する経費 2 団体等が開催する意見交換会等各種会議への所属議員の参加に要する経費
資料作成費	会派が行う活動のために必要な資料の作成に要する経費
資料購入費	会派が行う活動のために必要な図書、資料の購入に要する経費
人件費	会派が行う活動を補助する職員を雇用する経費
事務所費	会派が行う活動のために必要な事務所の設置及び管理に要する経費

(参考) 平成25年度の政務活動費の状況

(単位: 円)

会派名		新生会	ネットワーク 上田	日本共産党	公明党	上田新風会	清流クラブ
交付額		2,400,000	1,440,000	960,000	960,000	720,000	720,000
支出	調査研究費	1,933,680	1,160,932	271,958	540,715	284,692	637,970
	研修費	0	97,907	420,781	0	184,493	0
	広報費	0	0	0	0	0	0
	広聴費	0	0	0	0	0	0
	要請・ 陳情活動費	0	10,320	0	0	0	0
	会議費	0	0	0	0	0	0
	資料作成費	0	0	100,136	180,584	19,045	0
	資料購入費	7,610	18,800	62,950	6,030	7,560	3,600
	人件費	0	0	0	0	0	0
	事務所費	0	0	0	0	0	0
	その他の経費	0	0	0	0	0	0
支出計		1,941,290	1,287,959	855,825	727,329	495,790	641,570
残額		458,710	152,041	104,175	232,671	224,210	78,430

平成26年3月の改選により会派の構成、名称が一部変更になっています。

平成25年12月議会以降の請願・陳情の審査状況

請願

年	議会	件名	提出者	付託先	審査結果
25	12月	消費税の軽減税率制度の導入を求める請願	小林圓子 氏	総務文教	改選のため 審査未了
25	12月	「特定秘密保護法」制定に反対する請願	上小地区平和委員会 中沢盛雄 氏	総務文教	不採択
25	12月	TPP交渉に関する請願	上小農民センター 代表 柴崎義和 氏	産業水道	改選のため 審査未了
25	12月	憲法96条の発議要件緩和に反対する請願	子どもの未来と健康を考える会 代表 田口操 氏	総務文教	改選のため 審査未了
26	3月	子ども・障がい者等の医療費窓口無料化を求める請願	新日本婦人の会上田支部 代表 深町吉恵 氏	厚生	改選のため 審査未了
26	6月	憲法解釈を変えて集団的自衛権を行使することに反対する請願	上小地域「憲法9条を守る会」連絡会	総務文教	不採択
26	6月	集団的自衛権行使に関する、これまでの政府見解の継承を求める請願	上小地区労働組合会議	総務文教	不採択
26	6月	集団的自衛権についての憲法解釈変更をしないよう関係機関に意見書を提出することを求める請願	上小地区平和委員会 会長 中沢盛雄 氏	総務文教	不採択
26	9月	手話言語法制定を求める意見書の提出を求める請願	上田市聴覚障害者協会 会長 神代拓也 氏	厚生	採択
26	9月	インフルエンザ予防接種自己負担額軽減のための助成を求める請願	新日本婦人の会上田支部 支部長 深町吉恵 氏	厚生	継続審査
26	9月	消費税10%への増税中止を求める請願	上小県民主商工会 会長 橋本春雄 氏	総務文教	不採択
26	9月	集団的自衛権容認の閣議決定を撤回し、閣議決定にもとづく法整備等を行わないよう関係機関に意見書を提出することを求める請願	上小地区平和委員会 会長 中沢盛雄 氏 ほか2人	総務文教	不採択

陳情

年	議会	件名	提出者	付託先	審査結果
25	12月	上田市生田城平341番地における太陽光発電施設設置に関する陳情	飯沼自治会長 竹花和彦 氏	総務文教	採択
26	3月	TPP(環太平洋戦略的経済連携協定)交渉に関する陳情	信州うえだ農業協同組合 代表理事組合長 芳坂榮一 氏	産業水道	採択
26	6月	医療・介護総合推進法案に反対する陳情	東信医療生活協同組合 理事長 西澤弘行氏	厚生	不採択
26	6月	国の責任による30人学級推進と、教育予算の増額を求める意見書提出に関する陳情	上田市教職員組合 執行委員長 坂井弘 氏	総務文教	不採択
26	6月	「義務教育費国庫負担制度」の堅持を求める意見書提出に関する陳情	上田市教職員組合 執行委員長 坂井弘 氏	総務文教	不採択
26	6月	地方教育行政への国や首長の関与を強化する「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の「改正」について慎重審議を求める意見書提出に関する陳情	上田市教職員組合 執行委員長 坂井弘 氏	総務文教	不採択
26	9月	農業・農協改革に関する陳情	信州うえだ農業協同組合 代表理事組合長 芳坂榮一 氏	産業水道	継続審査
26	9月	平成20年度上田市「わがまち魅力アップ応援事業」「押出川流域」ウォーキングトレイル整備事業に対するの精査を求める陳情	矢野幸三郎 氏	環境建設	不採択

平成25年度議会報告会でのご意見等

昨年、各会場にていただいたご意見等につきましては、下記のとおりです。いただいたご意見等は、議会内で整理し、市側へ伝えるべきものについては、議長名で市側に伝えました。

地区	項目（内容）
中央	浄水場の下に余水が流れており、地元で小水力発電をやろうと考え、4年間動いているが、はかどらない。
中央	18号バイパスの工事予定区間の草が繁茂して、ポイ捨ての場所のようにになっている。年2回くらいは草刈りをしてもらいたい。
中央	18号バイパスの草が高く伸び、脇道から出る時に見通せない。国道、県道ということだけでなく、生活道路として草刈りをしてもらいたい。
中央	染谷高校から下ってきた交差点は、死亡事故があったり子どもが車にひっかけられたりと危険な場所である。市が中心になって国や県に働きかけてほしい。
西部	西部公民館が移転したあとは、学童保育所とするなど隣接する西小学校のために使ってもらいたい。
西部	スーパーへのごみの不法投棄が多い。転入者や外国人に対するごみの分別収集方法の周知が足りないのではないかな。
西部	西上田駅のパークアンドライドのスペースを増やしてほしい。
西部	議会基本条例で、「赤松小三郎の先見と改革の志に学び」とあるが、志をどう生かすか、具体的に書いたほうが良い。
城南	情報プラザについて、地域、市民、行政、議会が情報交流できる場にしていける必要があると思うので、議会も市長マニフェストだけで捉えないでほしい。
城南	衰退する建設業について、他市は上田市に比べて経済活動が活発だから企業誘致、生産活動も活発。市は現状維持だから建設業が衰退しているのでは。議員も現状から経済活動が活発になる取り組みをしてほしい。
城南	議員報酬減額とともに市職員のラスパイレス指数が高く、職員も減額したが、3月までである。どうなのか。
城南	放課後児童施設について、子育て3法の成立からも施設定員（1人あたりの面積が保育園児の面積）、待遇、賃金等の改善をお願いしたい。
城南	空き家対策はどうなっているのか。
神科 豊殿	男女共同参画という観点から、庁内でも女性の登用を積極的に推進してほしい。
神科 豊殿	中山間地域では農地法の縛りがあり、必ずしも地域の活性化に結び付いていない。地域の活性化に繋がるような上田市独自の条例を考えていただきたい。
神科 豊殿	上田東地域は西側の地域に比べて、道路整備などの社会資本の投下が少ないのではないかな。西高東低の問題について議員さんはどう考えているのか。
神科 豊殿	近年、矢沢公園では歴史的な松が松くい虫の被害に遭ったり、土砂崩れに遭うなどの被害が起きている。地域のシンボルである矢沢公園を観光資源としてもっと整備してほしい。
神科 豊殿	新幹線の金沢延伸等を考えると、産業振興はこれからの上田市に絶対必要な課題。議会では具体的にどのような施策を行っていく予定があるのか。
神科 豊殿	堰の修復は地元負担が2割。現在は、農家が減少し管理する組織がなくなってしまった。結果、自治会が負担しなければならない状況だが、農家でない住民に負担を強いるのも問題がある。何かいい方策はないかな。
神科 豊殿	上田市でも高齢化が進展し、出歩くことが困難なお年寄りが増えている。デマンドタクシー等公共交通網の拡充・整備が求められているが、現在どの程度取り組みが進められているのか。
神科 豊殿	バス利用を増やすためには夜間の運行も考えてほしい。

神科 豊殿	議会基本条例はいささか理念先行に過ぎるのではないかな。監視・チェック機能を高めるためにはもう一歩踏み込んだ記述が必要ではないかな。
塩田	「議会として見守りたい」とか「動向を注視していきたい」という抽象的な表現が報告に並んでいるが、どういうことなのか。それぞれのテーマに対してしっかり関与していったほしい。
塩田	付帯意見の強制力はないと聞くんが、付帯意見が守られる比率というのはどうなのかな。付帯意見のその後がどうなったか、チェックを怠らずにお願いしたい。
塩田	運賃低減バス運行が始まったが、今後どうしていきたいのか、どのように利用者増につなげていこうとするのかが伝わらんない。具体的に説明してほしい。
塩田	議会基本条例の検討にあたって、自治基本条例との関連性はどうか。また、各種法令との整合性はどうか。
塩田	自治基本条例では市議会の役割として開かれた議会や議員の資質向上や自己研鑽に努めるよう規定されているが、議会基本条例には盛り込まれていないのではないかな。会派や議長・副議長・委員会についての役割など
塩田	運賃低減バス運行が始まったが、今後どうしていきたいのか、どのように利用者増につなげていこうとするのかが伝わらんない。具体的に説明してほしい。
塩田	運賃低減バスは高齢化の中でとても画期的な取り組みだと思う。PRにもっと力を入れてほしい。市ではどのようなPRをしているのか。
塩田	消防団員の高齢化が進んでいる地域が増えてきた。県外では70歳とか65歳でも分団員として活動しているところもある。14分団はまだ若い団員が集まっているのはありがたいと思う。自治会長さんとの連絡協議会を持っても1年で代わってってしまうので、なかなか分団の声が届かんない。末端の団員の声もしっかり拾ってほしい。
川西	宿泊を伴う大会を引っ張ってこられるような施設を望みたい。
川西	地域協議会の中で、泉池跡地にスポーツ公園を作ってほしいという意見が出ている。これが市長への答申としてまとまると思うので、よろしくをお願いしたい。
川西	学校や支所が中心部の方へ動いていってしまうと、地域の過疎化が進み活力がなくなってしまう。この点を行政にはしっかり考えていただきたい。
川西	災害時の避難マニュアルや避難経路、情報伝達の徹底を図っていただきたい。
川西	今後の報告会では、委員会で取り組んでいる最重要課題に絞って説明してもらえるとわかりやすくていいと思う。また、視察や研究を通じて何がどのように変わったのかという観点から説明してもらいたい。
川西	災害時の避難マニュアルや避難経路、情報伝達の徹底を図っていただきたい。
丸子	議員と地域協議会との連携を密にしてもらいたい。
丸子	各自治会で避難場所が複数あるところもある。すべての避難場所を合併前のようにすべて整備してほしい。
丸子	認知サポーターさんがわかる制度や地域の横の連携を強化してほしい。
丸子	信州音楽村への道路整備、特に雑草対策ができていない。また案内標識がわからない。
丸子	メガソーラー設置に関する規制が無い。条例化する動きはあるのか
真田	若宮林道が36年間登記されておらず、自分の山のどこに林道が通っているのか公図上分からない状態。固定資産も払い続けている。早く登記してもらいたい。
真田	国道144号の下原交差点は車が混雑して危険である。右折レーンを作るなりして危険回避をしてほしい。
真田	地域医療に不安がある。
真田	交流・文化施設は多くの人に利用してもらうことが重要。真田地域からは場所的に遠い施設だが、高齢者も関心があるので、無料の催しを開館時に一つはおこなったらどうか。

真田	市内でかつて確認されていた古文書が逸失してきている。公文書館を造って保管する場所、活用する場所、また職員配置等お願いしたい。
真田	人口減少と高齢化を考えると、バスだけでは対応できない。デマンド交通を研究してほしい。
真田	消防団員が出動中にケガをし、入院した場合、費用が60%しか出ないと聞いた。100%出るようにしてほしい。
真田	有線放送は農村文化なので、維持していくべき。その観点から調査・研究をしてほしい。
武石	武石地域自治センターの建て替えと職員の人員削減の噂を聞くが本当か。人員削減は高齢者には深刻な問題。議会としても優しい気持ちでお願いしたい。

